

2020 年度第 5 回日本獣医がん学会 理事会(メール会議)議事録

日時：2021(令和 3)年 3 月 6 日

場所：メール会議

出席者：(メール送信先) 理事：石田卓夫、藤田道郎、杉山大樹、皆上大吾、武信行紀、高橋 雅、 浅野和之、金井詠一、児玉和仁、小林哲也、井上 明、高木 哲、辻本 元、中川貴之、細谷謙次

監事 三宅龍二・水上浩一

議事録署名人：代表理事 石田卓夫 (印) 、監事：三宅龍二 (印) 、水上浩一 (印)

議事録作成人：事務局 福原佳子

出席理事 議決権のある総理事数 15 名

メール送信日：2021 年 3 月 6 日

返信期限：2021 年 3 月 12 日正午

ご意見・ご質問返信：全員へのメール返信にて

投票返信先：投票フォームもしくは事務局メール宛、なお、期日までにご返信が頂けなかった場合は、ご承認いただいたものと判断した。

決議を明確にするため、2021 年 3 月 12 日の決議事項について本議事録を作成し、議事録に押印する。

報告事項：

1. 2020 年度 各委員会事業報告および並びに収支報告
 - 1) 各委員会等事業報告(資料 1、1-2)
 - 2) 2020 年度収支報告(資料 2)
2. 2021 年度理事・社員(代議員)改選に関して(資料 3)

審議・決議事項

第 1 号議案 2021 年度予算案(資料 2)

決議事項：承認された。

第 2 号議案 第 24 回学会(2021 年 7 月 3-4 日、於：東京)の開催方法に関して(資料 4)

決議事項：完全オンライン配信に賛成多数で承認された。

第 3 号議案 WVCC2022(2022 年 3 月 17-20 日予定)の開催について(資料 5)

決議事項：WVCC2022 年開催は一旦中止として、2025 年以降の開催を世界の関係組織と WVCC・国際情報委員会が協議を継続することで承認された。

(資料1)

報告事項：1. 2020年度 各委員会事業報告および並びに収支報告

1) 各委員会等事業報告

ー 学会雑誌編集委員会：藤田 道郎 担当理事

- ・2020年12月発行 第9巻 第1号発行
- ・2021年2月4日現在の審査中論文は原著2本、短報23本である。
- ・2018年度未満(2015～2017年)に投稿された筆頭著者あるいはコレスポンディングオーサーからのやり取りが1年以上停止している論文は、編集担当より再連絡をとり、2021年3月末日までに未返信の場合は、本学会雑誌編集委員会が投稿論文の取り下げ措置を実施する。

ー 認定医認定委員会：皆上 大吾 担当理事

- ・2020年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、メール会議を中心として活動した。
- ・諸々の新型コロナウイルスへの対応に関しては、別途、資料1-2を参照頂きたい。
- ・2021年度認定医試験に関しては10月10日(日)開催の方向で検討している。
- ・2021年2月18日にonline会議を開催し、準備状況や試験開催方法について審議を行なった。

ー 企画委員会：武信 行紀 担当理事

2020年度前半：第22回オンライン学会開催。経過については報告済み。

2020年度後半：第23回オンライン学会企画についてメール会議など実施。

1) 第23回オンライン学会「猫の扁平上皮癌」開催 Vetpeerにて

・総合討論シンポジウムは遅れて配信(ショートセミナー・演題提供を録画先行配信)、見逃し配信も実施。

- ・総合教育講演(認定医講習)は録画配信。

2) その他の活動

- ・第17回内科アカデミー(2021/02/19-3/7) 共催企画：なし
- ・学会抄録PDFの事前ダウンロード開始(総合教育を除く)

3) メインテーマ

- 2020夏(オンライン) 「気管と肺の腫瘍」
- 2021冬(オンライン) 「猫の扁平上皮癌」
- 2021夏(オンライン) 「リンパ腫2021(仮)」

4) 学会開催実績

第22回学会：全877名(正会員729名、準会員11名、非会員101名、学部学生36名) + 無料視聴者
受講証明書273名、出席証明書318名

第23回学会：全1112名(会員区分別は算出中) + 無料視聴者
受講証明書404名、出席証明書333名

ー 内科療法委員会：高橋 雅 担当理事

メール会議にて活動 第23回がん学会でのシンポジウム、教育講演を企画担当

ー 外科療法委員会：浅野 和之 担当理事

- ・第23回(冬)の学会での卒後教育講演として古川敬之先生(JARMeC名古屋)「犬の体幹部断脚術の基本手技と患肢温存を目的とした肩甲骨全切除術」を企画
- ・メール会議(随時)にて2021年度第24回学会における外科シンポジウム「動画で見る腫瘍外科シリーズ」「卒後教育講演」に関する企画を協議。

ー 放射線療法委員会：中山 智宏 委員長(金井 詠一 担当理事)

- ・2020年10月10日に放射線療法委員会をメール会議で実施した。議題は第23回学会のプログラムにおいて、放射線療法に関する卒後教育講演1コマ分の講師を選任することであった。協議の結果、岐阜大学の後藤匠先生を講師として、選任した。

－病理委員会：児玉 和仁 担当理事
・活動報告はなし

－ JONCOL 編集委員会：井上 明 担当理事
・会議はコロナ禍のため開催していない。
・JONCOL No. 29 を 2021 年 1 月に発刊した。

－ WVCC・国際情報委員会：小林 哲也 担当理事

1) WVCC 基調講演オンライン配信

新型コロナウイルス感染症蔓延のため、2020 年 3 月開催予定の WVCC が延期となったが、WVCC おもてなし企画として、基調講演者にリモート講演を依頼した。英語の基調講演には日本語通訳音声、日本語講演には英語通訳の音声を付け、合計 7 講演を各 1 カ月間にわたり配信した。このおもてなし企画は、WVCC 参加登録者および JVCs 会員に無料で配信され、英語・日本語版でのべ約 2,000 回の視聴がなされた。一方、Dr. Theilen は 2020 年 6 月 30 日に永眠されたため、オンライン基調講演にご参加頂けなかった。各講演の配信内容、期間、協賛企業は下記のとおりで、基調講演と併せて企業協賛動画も同時に配信した。

講師：Chand Khanna

講義名 1 : Cancer Precision Medicine: uncovering obstacles, therapeutics, and diagnostics, in canine hemangiosarcoma

公開期間：2020. 6. 5 - 2020. 7. 4

講義名 2 : The Allure and Challenges of Early Diagnosis and Immunotherapy in Veterinary Oncology

公開期間：2020. 6. 26 - 2020. 7. 25 *協賛：ZENOAQ 日本全薬工業株式会社

講師：Jamie F. Modiano

講義名：Cancer As a Consequence of Breaking Through Evolutionary Constraints on Longevity: Next-Generation Solutions for a 400 Million Year Old Problem

公開期間：2020. 06. 15-2020. 07. 14

講師：Dr. Liptak

講義名：Surgical Margins, Histologic Margins, and the Residual Tumor Classification Scheme

公開期間：2020. 06. 22 - 2020. 07. 21

講師：Philip J. Bergman

講義名：Canine Malignant Melanoma Update and Controversies

公開期間：2020. 07. 04 - 2020. 08. 03 *協賛：ペーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン株式会社

講師：Cheryl A. London, DVM, PhD., ACVIM (O)

Molecular Targeted Therapy: Toceranib and Beyond

公開期間：2020. 07. 20 - 2020. 08. 19 *協賛：ゾエティス・ジャパン株式会社

講師：Kazushi Asano, DVM, PhD, DJCVS

講義名：Surgery for Canine Hepatic Tumors

公開期間：2020. 08. 13 - 2020. 09. 16

2) WVCC2022 実施にむけた活動

2020 (令和 2) 年 7 月 30 日の社員総会 第 3 号議案にて「WVCC2022 年 3 月の延期開催」が承認され、実施に向けた会議を Zoom で行った。

2020年10月7日(水)16:00-17:00

- ・ WVCC オンラインの協力講師に謝金を海外送金等にて支払完了。
- ・ 東京観光財団より 2020 年会場費の助成金 250 万円入金申請
- ・ 2022 年開催日・場所等の確認：2022 年 3 月 17 日(木)～20 日(日)・東京コンベンションホール
- ・ 2022 年 WVCC 開催のため東京観光財団に 2020 年 8 月末日締切の助成金申請

2020年11月20日(金)16:00-17:00

- ・ 基調講演 講演者の選抜：2020 年の企画を前提に再考する。
- ・ 東京観光財団から WVCC2020 年開催助成金 250 万円が入金済。
- ・ 東京観光財団より 2022 年 WVCC 開催支援（助成金 800 万円）の申請許可受領。

以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大が顕著にみられ、計画していた会議開催を都度、1 週間前に開催を検討したが保留とした。

2021年3月3日(水)16:00-16:30

- ・ 開催 1 年前 3 月 16 日に会場の正式申込を迎えるにあたり、WVCC2022 の開催可不可について検討した。理事会でのご審議をお願いすることとした。（審議事項：資料 5）

ー 渉外・広報担当：杉山 大樹 理事

- ・ 特に、活動報告なし

(資料 1-2) 認定委員会に関わる COVID-19 感染拡大への対応まとめ

年月日	対応
2020年2月28日	理事会にて WVCC と第 22 回学会中止が正式決定
2020年3月11日	第 22 回学会の中止を受け、認定医更新条件として出席の取り扱いを決めるためメール会議を実施。審議により中止された第 22 回学会については全員出席扱いとすることになった。
2020年5月21日	理事会にて第 22 回学会（8 月開催）の online 開催が決定
2020年5月26日	第 22 回学会中止により年 2 回の認定医講習会が開催できなくなるため、委員長判断により臨時認定医講習会を online で開催することを決定
2020年6月29日	Vetpeer の協力により臨時認定医講習会を online 開催。講習会の参加印に関しては受講証明書を発行し対応した。
2020年8月3日	認定委員会各セクションの責任者と相談の上、最終的に 2020 年度認定医試験中止を決定。理事会に報告し承認された。会場キャンセル料約 130 万円。
2020年8月6日	会員に認定医試験中止を告知（HP およびメール）
2020年8月22日	第 22 回学会および認定医講習会を online 開催
2020年9月14日	理事会にて第 23 回学会（1 月開催）の online 開催が決定
2020年12月11日	2021 年度認定医試験の開催可否についてメール会議を実施。審議の結果、有効投票数 42 票、賛成 29 票、反対 13 票で現時点では開催の方向として会場予約を進めることを決定。
2021年1月26日	第 23 回学会および認定医講習会を online 開催
2021年2月18日	online 会議を開催し、準備状況や試験開催方法について審議を行なった。

● 認定医講習会開催記録

開催日時	2020年6/29-7/6	2020年8/22-8/23	2021年1/26-2/16
場所	Online (Vetpeer)	Online (Vetpeer)	Online (Vetpeer)
	臨時認定医講習会	認定医講習会（夏）	認定医講習会（冬）
参加人数	546 名：受講証明 427 名	880 名：受講証明 273 名	1112 名：受講証明 404 名
A-1 臨床病理学	皆上大吾	石田卓夫	皆上大吾
A-2 診断学総論	保坂創史	杉山大樹	田戸雅樹
A-3 治療学総論	杉山大樹	田川道人	石垣久美子
A-4 外科療法	細谷謙次	林光児	中川貴之
B-1 細胞診断学	小笠原聖悟	皆上大吾	小笠原聖悟
B-2 画像診断学	戸島篤史	中山智宏	坂大智洋
B-3 化学療法	小林哲也	佐々木悠	田川道人
B-4 放射線療法	藤田道郎	出口辰弥	細谷謙次

(資料2)

法人名：一般社団法人日本獣医がん学会

正味財産増減計算書

2020(令和2)年 5月 1日 から2021(令和3)年 4月 30日 まで

(単位：円)

科 目	2021年度予算案	2020年度収支見込
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取会費		
正会員受取会費	2,400,000	23,540,538
準会員受取会費	10,000	5,000
賛助会員受取会費	650,000	638,000
受取会費計	3,060,000	24,183,538
事業収益		
参加費収益	23,000,000	20,236,000
展示・広告収益	2,500,000	2,251,100
認定医手帳販売収益	200,000	208,500
要旨販売収益	15,000	0
懇親会費収益	200,000	0
受験料収益	5,000,000	0
登録料収益	350,000	1,380,000
事業収益計	31,265,000	24,075,600
雑収益		
受取利息	500	0
雑収益	150,000	575,421
雑収益計	150,500	575,421
経常収益計	34,475,500	49,034,559
(2) 経常費用		
事業費		
臨時雇賃金	0	0
旅費交通費	5,000,000	49,880
通信運搬費	800,000	939,400
消耗什器備品費	200,000	0
消耗品費	1,000,000	34,080
印刷製本費	5,000,000	2,168,122
賃借料	20,000,000	4,560,890
諸謝金	30,000,000	3,893,173
租税公課	300,000	0
委託費	15,000,000	9,532,852
雑費	200,000	532,246
事業費計	77,500,000	21,710,643
管理費		
会議費	30,000	2,574
交際費	50,000	17,105
旅費交通費	300,000	2,048
通信運搬費	800,000	393,350
消耗什器備品費	100,000	23,248
消耗品費	200,000	341,577
印刷製本費	7,000,000	232,530
賃借料	470,000	470,510
諸謝金	1,110,000	1,087,016
支払寄付金	300,000	300,000
雑費	20,000	53,600
管理費計	10,380,000	2,923,558
経常費用計	87,880,000	24,634,201
評価損益等調整前当期経常増減額		
当期経常増減額		
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益計		
(2) 経常外費用		
経常外費用計		
当期経常外増減額		
税引前当期一般正味財産増減額		
当期一般正味財産増減額		
一般正味財産期首残高		
一般正味財産期末残高		
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額		
指定正味財産期首残高		
指定正味財産期末残高		
III 正味財産期末残高		

(資料3) 報告事項2. 2021年度理事・社員(代議員)改選に関して(副会長 杉山大樹)

現理事の任期は今年7月の社員総会までとなっております。本会の理事改選の規則は「現理事会が次期理事名簿案を作成・提出し、社員総会の承認を取る」という手順(下記参照)になっており、次期理事名簿案作成に選挙は必須とはなっていません。

これまでの理事改選では、新理事全員を選挙で選出する方法、現理事を概ね残し新たに数名を選挙で選出する方法、現体制維持、などの方法で改選してまいりました。

執行部の意向としては、コロナ禍で顔を合わせて次期体制を議論する場を設けられないこと、WVCCの開催可否や延期の判断など現体制が途切れることへの危惧があること、などから今回の理事改選では現体制の維持をしたいと考えております。

つきましては全てご内諾をいただいた上で以下の新理事名簿案を作成しました。これを7月の社員総会に提出することをご報告いたします。

業務執行理事(11名)	会長(代表理事)	石田 卓夫	
	副会長	藤田 道郎	学会雑誌編集委員会担当(委員長兼任)
	副会長	杉山 大樹	経理担当、渉外広報担当
		皆上 大吾	認定委員会担当(委員長兼任)
		武信 行紀	企画委員会担当(委員長兼任)
		高橋 雅	内科療法委員会担当(委員長兼任)
		浅野 和之	外科療法委員会担当(委員長兼任)
		金井 詠一	放射線療法委員会担当(委員長:中山 智宏)
		児玉 和仁	病理委員会担当(委員長:賀川 由美子)
		小林 哲也	WVCC・国際情報委員会(委員長兼任)
	井上 明	JONCOL 編集委員会担当(委員長兼任)	
通常理事(4名)(五十音順)		高木 哲	
		辻本 元	
		中川 貴之	
		細谷 謙次	

【2021年度の理事・社員改選手順】

2021年3月:メール理事会で次期理事名簿決定

2021年5~6月:社員(代議員)選挙実施(被選挙権は全会員、定員40名、公示5月8日、立候補受付5月8~15日、投票期間5月22日~6月5日)

※総会選出代議員10名は理事会で候補者名簿を作成し、総会で承認を得る

2021年7月学会:

定時社員総会で新理事名簿の承認を得る

現理事の任期は定時社員総会終了の時までである。定時社員総会終了とともに新理事の任期が始まり、当日中に新理事会を開催し新理事の互選により会長を選出する。

現社員の任期は定時社員総会終了の日までであり、その翌日から新社員の任期が始まる

(資料4) 第2号議案 第24回学会(2021年7月3-4日、於:東京)の開催方法に関して
(副会長 杉山大樹)

本年7月の第24回学会の内容ですが、企画委員会を中心に各委員会と連携しその内容を協議しております。しかしながらこのコロナ禍での学会準備作業は大変難しく、以下の理由から第22、23回学会同様にオンライン開催(会場参集なし)とすることを提案いたします。

- ・講師の内諾が得られない(所属施設の感染防止対策ガイドラインに抵触する)
- ・講師および参加者の長距離の移動を学会として推奨できない
- ・現時点でキャンセルしないとキャンセル料が増額していく
- ・第22、23回のオンライン開催は改善点もあるが、概ね好評である

以上について、ご審議をお願いいたします。

(資料5) 第3号議案 WVCC2022(2022年3月17-20日予定)の開催について
(WVCC・国際情報委員会 委員長 小林哲也)

開催1年前の3月16日に会場の正式申込を迎えるにあたり、開催の可能性について委員会で検討をし、その結果をもって理事会でのご審議をお願いいたします。

- ・国際学会である以上、安全に海外からも来日できることが必須である。
- ・2021年3月17日以降に会場の正式契約が必要となり、契約後に取り消す場合はキャンセル料が以下のとおり生じる。

なお、会場費は2020年経費1300万円と仮定して取消料を日付別に算出した。

契約～91日前(2021年12月17日)まで 30% : 390万円

61日前(2022年01月16日)まで 50% : 650万円

31日前(2022年02月15日)まで 70% : 910万円

30日前(2022年02月16日)以降 100% : 1300万円

・日本および世界の新型コロナウイルス感染症の現況を鑑みて、2022年に開催をすることは極めて厳しい状況と判断した。

- ・次回開催可能時期をVCS事務局に問合せたところ2025年以降であることを確認した。

以上のことから、コロナ禍で海外講師への依頼や会場、イベント等を含めた諸々の準備を進めることはかなり難しく、万が一、中止になった際には再度、多額の会場キャンセル料の損失を本学会に与えることが考えられる。少なくとも2022年開催は一旦中止として、2025年以降の開催を世界の関係組織とWVCC・国際情報委員会が協議を継続することについて本委員会委員の全員一致により決議に至ったので、理事会でのご審議をお願いいたします。